



第 40 号
令和元年 10 月
会長 岡本 諒

3 年ぶりに北野子供みこし

9 月 12 日（木）、「北野地区子供みこし運営委員会主催」による厚別神社秋祭りの子供みこしが行われました。

みこしは、3 班に分かれ、当自治会は、南北野、上北野、北野新和各町内会と共に第 3 班を担当し、主に北野平小学校の児童など約 20 名（当自治会からは 11 名）が参加しました。

第 2 班との中継会場「焼き肉店ガヤ」で御輿、タスキ、法被などを引き継ぎ、16 時 25 分元気に出発しました。

雨天などの影響で 3 年ぶりの実施となったせいか、参加者が少なく、御輿の引手も大変な様子でしたが、声を掛け合い、ゴールの北野ふれあい公園まで、一人の落伍者もなく無事到着することが出来ました。



会員の異動のお知らせ

9 月より 2 区 8 班 渡邊弘之さんが入会されました

9 月末日 1 区 3 班 富永和洋さんが退会されました。

9 月末日 2 区 4 班 杉目智哉さんが退会されました。

(9 月末日現在の総会員数は 318 名)

令和元年度パークゴルフ大会

女性の部優勝は新会員の藤井京子さん

9月15日（日）恒例の自治会パークゴルフ大会が厚別川緑地の「まがもコース」にて開催されました。

参加者は、9時30分に集合。今年は、参加者が多く、男性14名、女性9名計23名が6組に分かれ、岡本会長の挨拶を頂いた後、競技が開始されました。

この日は曇天で雨が心配されましたが、程よいパーク日和となり終始快適にプレイすることが出来ました。

成績は右表のとおりでしたが、やはり、成程と思われる実力者が上位を占めました。

今回、7月に新たに会員となられた藤井さんご夫妻が参加されましたが、女性の部で藤井京子さん（2区11班）が見事優勝されました。また、男性の部では、青山律夫さんが、最近の5大会で3度目の優勝となりました。

また、田中栄子さんが、B-5ホールでホールインワンを達成するなど、話題の多い大会となりました。

表彰式の後、柳沢副会長の講評があり、家計にうれしいゆめびりかななどのお米の賞品を手にとりました。

成績上位者			敬称略	
順位	男性の部		女性の部	
優勝	青山律夫	54	藤井京子	55
準優勝	鎌田晃輔	55	田中栄子	57
三位	上地和男	60	和佐田節子	59



敬老の日にお祝いの品を贈呈

白寿1名、米寿3名、喜寿17名

当自治会では、毎年敬老の日、当自治会の規定により満年齢で白寿（99歳）、米寿（88歳）、喜寿（77歳）を迎えられた方々に、会長が直接各自宅にお伺いし、お祝いを申し上げるとともに、お祝いの品を贈呈しています。

今年の該当者は、例年より多く、白寿1名（女性1名）、米寿3名（男性3名）喜寿17名（男性10名、女性7名）で、いずれもお元気でお過ごしです。

今後とも自治会の活動に諸先輩の豊かな経験に基づくお知恵をお貸し頂くとともに、一層のご健康とご長寿を心よりお祈り致します。

避難所運営ゲーム（HUG）講習会

一年前、私たちは台風と地震による災害を身近に体験し、被害の深刻さと、日頃からの備えの大切さ痛感致しました。いつ身近なところで起きるかもしれない災害では、地域での連携と心構えが重要です。

9月22日（日）当講習会が連合会館にて開催されました。

講師は、北海道地域防災マスターで防災士の時本栄二氏、また、清田区市民部総務課地域安全担当係から松葉係長ら2名が講習会の準備や助言などをして下さいました。

最初にDVDによる放映があり、「地域で進める自主防災活動の中に、女性の視点を取り入れるように。防災訓練には、子供から高齢者、女性を積極的に参加させる。また、避難所運営の訓練の重要性。」などを学びました。

さらに、少しでも安心して安全な避難所運営を行うためには

- ① 避難所運営組織の各班の中に必ず女性を加える。
- ② 避難所運営の負担は特定の人に集中しないよう役割分担を工夫する。
- ③ 日頃から女性の力を活かしたまちづくり活動、防災活動を進める。

講師からは

- ① 関連死の半数は避難所での疲労によるもの。
- ② 障がい者、妊婦など特別な配慮を必要とする人への対応。
- ③ 男女別に配慮した空間づくり、機能別レイアウト。
- ④ 様々な事例でのルールづくり。
- ⑤ 胆振東部地震では、本棚や家具の下敷きによる圧迫死が4人いたので日頃から、転倒防止の対策を。
- ⑥ 地震は長くて20秒、発生時にはまず身の安全を確保し「動かないのが大原則」、揺れが収まってから避難する。

等のお話がありました。

その後HUGのやり方の説明があり、参加者32名（内女性5名）は4グループに分かれ、北野平小学校の平面図を前に、読み上げられた事例に対し、発生時の条件が、厳冬期という厳しく、様々な制約がある中で、それぞれのケースの対応に頭をひねりながら進めていきました。

また、仮設トイレの設置方法についてグループごとの検討結果を発表して問題点などを探り、内容を深めました。

内容が、多岐に亘り、あっという間に予定時間を大幅に超えたため、止むを得ず終了となりましたが、出来れば、実際に避難所となる北野平小学校で教職員にも参加して頂き行うのが望ましいとの講師のアドバイスがあり、考えてみる必要があります。



秋季レクリエーション ぶどう採りと温泉

9月29日（日）秋季レクリエーションとしてぶどう採りと温泉が行われました。

この行事は、昨年までの4年間行われたいちご採り、更にその前の4年間行われたさくらんぼ採り以来、9年ぶりのこととなりました。

参加者は、48名（男性18名、女性21名。子供6名、幼児3名）で送迎バスのほか、マイカーも利用するほどの盛況でした。

目的地は、南区藤野にある田中果樹園。国道230号線に近く、ぶどうの他、りんご、プルーン、さくらんぼ、なし等を栽培しています。

この日は、曇り空で小雨もぱらつきましたが、ぶどう棚の下では、気になることもなく、甘さの情報を交換しながらお腹いっぱい食べることが出来ました。

園内のぶどうの木は約200本、このうち約半数が解放され、約1時間、キャンベル（くろ）ポートランド（あお）ノースレット（あか）、これら3種類の味と甘さを楽しみました。

昼食は恒例の八剣山パークゴルフ場でジンギスカン。早く着いたため、その間、パークゴルフをしたり、パンやワインを買うなど、思い思いの時間を過ごしました。

昼食後は、確率2分の1の野菜の福引で、一喜一憂、その後全員で集合写真に納まりました。

最後は、定山溪ホテルミリオーネにて入浴して休憩。天気も良くなり、周囲の山肌がほのかに色着き、秋の訪れを感じさせてくれました。

今回は、子供の参加が多く、微笑ましい情景が見られ、自治会が一つの家族の様に感じられたひと時でした。



今回のぶどう採りは、好評で来年も実施する予定となりました。

第40号 編集者
広報部 荒木貞一